

クラウド

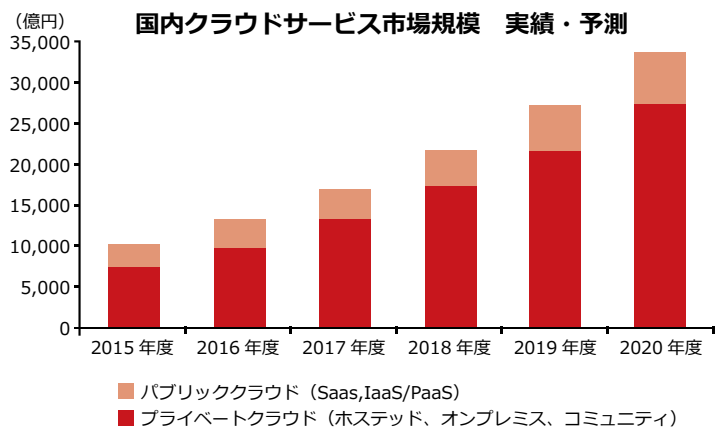
業務の効率化

# 国内クラウドサービスの市場規模はすでに1兆円を突破 クラウドサービスの市場動向

“クラウド”という言葉が社会に広まり、ビジネスにおけるITの利活用に大きな変化を生み出してから10年近くが経過しました。この間クラウド自体も大きく進化し、従来は対応できなかった課題を解決できるサービスも登場しています。果たして、最新のクラウドサービスを使うことで、IT環境をどのように変革できるのでしょうか。

2016年12月にMM総研が発表した、国内クラウドサービスにおける2015年度(2015年4月～2016年3月)の実績を見ると、国内クラウドサービスの市場規模はすでに1兆円を突破しており、着実にクラウドサービスが各企業に浸透しつつある様子が伺えます。また同レポートでは、2020年度には市場規模が3兆円を超えると予測しており、今後もクラウドが広まり続けるのは間違いのないでしょう。

このレポートでは、広く一般にサービスが提供されている「パブリッククラウド」と、VPNサービスなどを利用して接続し、自社のプライベートクラウド基盤のようにクラウドサービスを利用する「ホステッド・プライベートクラウド」の2種類に分け、各クラウドサービスのシェアも公表しています。それによれば、ホステッド・プライベートクラウドにおいて、NTTコミュニケーションズが提供する「Enterprise Cloud」は19.2%でトップシェアを獲得しています。



## ■ホステッド・プライベートクラウド

利用サービス (n=390、複数回答)

サービス名	%
Enterprise Cloud (NTT コミュニケーションズ)	19.2
FUJITSU Cloud IaaS/PaaS	18.2
IBM Bluemix	17.2
KDDI クラウドプラットフォームサービス	13.8
NEC Cloud IaaS	13.6
SmartCloud (NTT コムウェア)	13.6
GMO クラウド Private	12.1

## クラウド業務で課題をお持ちのお客さま

フリーダイヤル/ナビダイヤル回線から便利な機能まで、お客さまニーズに合わせた最適なソリューションをご提案いたします。



**0120-106107**

受付 | 9:30 ~ 17:00  
時間 | (土日祝日を除く)